

2025年度

登録エクステリア基幹技能者試験問題

東京会場

〔注意事項〕よく読んでから試験を開始してください。

1. 試験問題は、20問あります。すべての問題に解答してください。
2. 試験問題は、四肢択一式です。
3. 問題ごとに解答を1つ選択し、別紙解答用紙の該当する番号を○で囲んでください。
複数の番号を解答した場合には、その問題は不正解答となります。

<解答の記入例>

問題1 日本の首都に関する次の記述のうち、適当なものはどれか。

1.仙台 2.東京 3.名古屋 4.福岡

〔解答用紙〕

	選択肢			
問題1	1	2	3	4

4. 解答を訂正する場合は、消しゴム等できれいに消してから記入してください。
5. 問題用紙の余白は、計算等に使用して差し支えありません。
6. 解答終了後は、解答用紙のみ提出してください。問題用紙は持ち帰ることができます。
7. 試験中は、監理員の指示に従ってください。

試験実施日	受講番号	氏 名
2025年7月4日	東京 ー	

問題 1

登録基幹技能者制度の意義と役割に関する次の記述のうち、最も適当でないものはどれか。

1. 現場の作業を効率的に行うための技能者の適切な配置、作業方法、作業手順等の構成を行う。
2. 生産グループ内の技能者に対する施工に係る指示、指導を行う。
3. 経営事項審査においては、加点評価（5点）の対象となっている。
4. 登録基幹技能者を受講するには、業種に応じた資格と、10年以上の実務経験、3年以上の職長実務経験、の要件を満たす必要がある。

問題 2

登録基幹技能者には、専門的な作業能力の他に、企画・マネジメント・教育指導など多彩な能力が求められるが、次の記述のうち、適当でないものはどれか。

1. 一般の技能者を指揮・監督できるだけの十分な作業能力を有する。
2. 十分な経験と熟達した作業能力で、出来上がりの点検、工事の是正ができる。
3. 元請の技術者の示す施工計画等から、現場に適した技能面からの施工方法、作業手順、工夫の提案能力を有する。
4. チームを統率する資質のうち、部下や他業種の職長との連絡・調整は自社の管理担当者に任せる。

問題 3

OJT (On the Job Training) における指導・教育の基本認識に関する次の記述のうち、適当でないものはどれか。

1. 上司と部下の信頼とコミュニケーションが大切である。
2. 本人の適性に合わせた指導育成が大切である。
3. 指導・教育は継続的に日常的に実施することが大切である。
4. 部下には自社以外の外部と接触をさせないようにすることが大切である。

問題 4

登録基幹技能者に求められる能力に関する次の記述のうち、最も適当でないものはどれか。

1. 施工技術及び施工管理に係る基本知識と優れた技能を有し、かつリーダー役として、部下を間接的に指揮、監督することができる。
2. 施工技術に係る基本的な知識を有し、工事の各作業工程を通じて的確に施工管理を行うことができる。
3. 職務に関係する技術提案等を積極的に行い、全体の成果に結びつけることができる。
4. 指導者としての自覚をもち、不測の事態の発生に対しても意欲的に取り組み、責任をもって問題を解決することができる。

問題 5

登録基幹技能者の実務に関する「折衝力・調整力」の能力に関する次の記述のうち、
適当でないものはどれか。

1. 相手の立場や状況を理解する気持ちの余裕をもつことができる。
2. 施工現場の直接の窓口として、常に他業種とのコミュニケーションに心がけ、折衝、調整を行い、工事を円滑に推進することができる。
3. 技術者や他業種の職長と相互信頼の中で折衝、調整を行い、工事を円滑に推進することができる。
4. 仕事を円滑に進めるために、妥協と暗黙の了解で伝えることができる。

問題 6

エクステリアにおける登録基幹技能者に関する次の文章の□に当てはまる
語句の組合せとして、適当なものはどれか。

多様で専門的な技能、そして新技術にも精通した知識をもち、□イ□における調
整を必要に応じて適宜図ることなどにより、修景的・□ロ□に優れた空間を創り出
す□ハ□を備えた技能者、それが登録エクステリア基幹技能者である。

	イ	ロ	ハ
1	施工	環境的	総合的な能力
2	施工	美観的	専門的な能力
3	品質	美観的	総合的な能力
4	品質	環境的	専門的な能力

問題 7

リスクアセスメントに関する次の記述のうち、最も適当でないものはどれか。

1. リスクアセスメントでは、作業を始める前に作業に潜在する危険の大きさを見積もる。
2. リスクアセスメントの実施により、予防の安全管理、自主的な安全活動ができるようになる。
3. 対策の優先度は、災害が発生する可能性と災害の重大性の基準値を掛け合わせ求める。
4. リスク低減措置は、ガードや安全装置など工学的（物理的）対策を第一に検討する。

問題 8

日本の労働災害に関する次の記述のうち、最も適当でないものはどれか。

1. 度数率は、100 万延労働時間当たりの労働災害による死傷者数である。
2. 建設業の死亡者数は、平成 12 年に対し 20 年後の令和 2 年では、およそ 1/3 に減少している。
3. 令和 2 年の建設業の労働災害死亡者数は、全産業の 30%を占めている。
4. 建設業は、機械を多用する装置型産業で、安全対策の上ではマニュアルに従い安全設備を整えることが重要である。

問題 9

資材管理に関する次の記述のうち、建築用コンクリートブロック（以下、ブロックと記す。）に関する日本産業規格（JIS）の規定として最も適当なものはどれか。

1. 基本形ブロックとは、空洞ブロックのうち、組積体に使用する基本的な形状のもので、縦横二方向に鉄筋の配置が可能な空洞部をもつブロックのことである。
2. 圧縮強さによる区分「C」の空洞ブロックにおいて、全断面積圧縮強さは 8 N/mm^2 以上である。
3. 普通精度ブロックの高さにおける寸法許容差は、 $\pm 1.0 \text{ mm}$ である。
4. ブロックの正味厚さとは、フェイスシェル表面の化粧である凸部を含むブロックの最も厚い部分の厚さである。

問題 10

資材管理に関する次の記述のうち、日本産業規格（JIS）の規定として最も適当でないものはどれか。

1. セラミックタイルにおける裏あしとは、セメントモルタルなどとタイルとの接着をよくするため、タイルの裏面に付けたリブ又は凹凸のことである。
2. 鉄筋コンクリート用棒鋼における異形棒鋼の呼び名において、記号Dに添えられている数値は、公称直径を示すものである。
3. レディーミクストコンクリートの強度は、規定の試験による1回の試験結果が、購入者が指定した呼び強度の強度値以上でなければならない。
4. レディーミクストコンクリートの運搬時間は、購入者との協議がない場合、生産者が練混ぜを開始してから運搬車が荷卸し地点に到着するまでの時間とし、その時間は1.5時間以内でなければならない。

問題 1 1

施工管理に関する次の記述のうち、最も適当でないものはどれか。

1. 施工計画は、十分な事前調査を行い慎重に立案するだけでなく、工事進行の各段階において、計画通りに施工が行われているかどうかを比較・検討し、必要な是正処置を適切にとれるように、あらかじめ考えて計画しなければならない。
2. 施工要領書は、「安全に」、「良いものを」、「工期内に」、「低コストで」を検討して作成する。特に、経済性と品質の維持向上に重点を置き、現場環境、設備内容、工程等の様々な条件を考慮し、適切な施工方法を選定する。
3. 施工管理において専門工事業者が行う品質管理は、元請の工程表に従い自社の工程が円滑に進捗するよう計画し、工事目的物を完成させるために行うものである。
4. 作業手順書は、誰がやっても「基準通り」に同じ結果が得られるものであり、新入社員や未熟練作業員に、仕事を「安全で、正確に、早く」教えるために必要なものである。

問題 1 2

施工管理に関する次の記述のうち、最も適当でないものはどれか。

1. 指定の材料・部材・部品のうち特に入手困難なものがあるときは、それと同等以上の代替品を、監理者の承認を受けて使用することができる。
2. 鉄筋コンクリート工事では、コンクリートの練混ぜから打込み終了までの時間の限度は、外気温が 25℃未満では 120 分、25℃以上では 90 分とする。
3. メーソンリー工事では、目地モルタルは、特記のない限り、横目地及び縦目地ともにコンクリートブロックの接合部全面にすき間が生じないように塗布する。
4. メーソンリー工事では、1 日の作業終了時の縦目地空洞部への充填モルタル又は充填コンクリートの打込み高さは、コンクリートブロックの上端と同一面とする。

問題 1 3

建設業法の下請代金の支払いに関する次の記述のうち、適当でないものはどれか。

1. 元請負人は、請負代金の出来形部分に対する支払い又は工事完成後における支払いを受けたときは、当該支払いの対象となった建設工事を施工した下請人に対して、支払いを受けた日から1か月以内で、かつ、できるだけ短い期間内に支払わなければならない。
2. 元請負人は、法に規定する下請代金のうち労務費に相当する部分については、小切手又は現金で支払うよう適切な配慮をしなければならない。
3. 元請負人は、前払金の支払いを受けたときは、下請負人に対して、資材の購入、労働者の募集その他建設工事の着手に必要な費用を前払金として支払うよう適切な配慮をしなければならない。
4. 元請負人は、支払いを受けた金額の出来形に対する割合及び当該下請負人が施工した出来形部分に相応する下請代金を、支払わなければならない。

問題 1 4

宅地造成及び特定盛土等規制法・同施行令に関する次の記述のうち、土地の形質の変更規制対象として適当なものはどれか。

1. 切土であって、当該切土をした土地の部分に高さが1.5mを超える崖を生ずることとなるもの
2. 盛土であって、当該盛土をした土地の部分に高さが1.5mを超える崖を生ずることとなるもの
3. 切土と盛土とを同時にする場合における盛土であって、当該盛土をした土地の部分に高さが2.0m以下の崖を生じ、かつ、当該切土及び盛土をした土地の部分に高さが2.0mを超える崖を生ずることとなるもの
4. 1～3のいずれにも該当しない切土又は盛土であって、当該切土又は盛土をする土地の面積が300㎡を超えるもの

問題 1 5

原価管理に関する次の文章の□に当てはまる語句の組合せとして、適切なものはどれか。

原価管理とは、工事を行う際に発生する外注費や材料費等、どれだけ□イがかかるかを管理し、□ロを把握し、無駄をなくし利益を確保できるように管理することをいう。原価管理を行うことにより、労務費や材料費などについて把握でき、不要な材料購入や不必要な□ハといった無駄を減らすことができる。

	イ	ロ	ハ
1	経費	利益	人件費
2	原価	価格	稼働
3	原価	労務費	施工
4	人件費	価格	費用

問題 1 6

実行予算の作成に関する次の記述のうち、適当でないものはどれか。

1. 実行予算の作成に当たり、見積書の数値を基に、工事現場ごとの実際の工事に当てはめて原価を算出する。
2. 実行予算の作成に当たり、原価を算出する際に扱う数値はしっかりとした根拠を用いて、客観性のある実行予算を作成する。
3. 実行予算の作成により、現場ごとにかかる原価や赤字になる限界などもある程度把握でき、利益を確保するための指標になる。
4. 積算時での見込みや単価等をそのまま根拠にした実行予算では意味がない。このように請負金額は、実行予算を基に決定されることになる。

問題 1 7

工程計画に関する次の記述のうち、適当でないものはどれか。

1. 工程計画は、施工計画の中でも重要な計画で、工程計画の目的は工期の確保である。
2. 1 日平均施工量は、1 時間平均施工量に 1 日平均作業時間を乗ずることにより算出できる。
3. 工法の決定と工程の決定は表裏一体であるが、相互の確認が随時行われなければ工程の計画は決まらない。
4. 日程計画とは、工事数量や工事見積を確認し、仕事の順序を明らかにし、手順を決定することをいう。

問題 1 8

工程管理の概要に関する次の記述のうち、適当なものはどれか。

1. 工事が工期内にスムーズに進行するか、あるいは、完成するかは、手順計画や機械工具手配によって決まるといえる。
2. 工事管理の 4 つの柱に、安全管理、品質管理、原価管理、そして工程管理があり、これらは相互に関連性をもっており、とりわけ工程管理は他に及ぼす影響が大きい。
3. 工程管理は、作業量のみを効率よく減らす方法と手段でなければならない。
4. 工事において、まず、利益を上げることが大前提であり、その条件の中で、より良く、安く、安全に工事を進めるにはどうするのかという検討が工程計画である。

問題 1 9

品質管理の意義に関する次の文章の□に当てはまる語句の組合せとして、
適当なものはどれか。

品質管理の目的は、与えられた規格に合った製品を、最も□イ□に作ることができるよう工程の全ての段階で配慮していくことである。請負者は受注した工事の出来形（工事目的物の形状寸法）とそれに要する材料の形状、□ロ□を知ることができる。さらに、工事目的物の品質規格、数量、必要な施工法、機械などの詳細について、発注者の□ハ□によって知ることができる。

	イ	ロ	ハ
1	早期	材質	見積書
2	経済的	品質	仕様書
3	早期	材質	仕様書
4	経済的	品質	見積書

問題 2 0

品質管理の検査に関する次の記述のうち、適当なものはどれか。

1. 品質管理の検査の方法には大別して、全数検査と抜き取り検査の2つの手法がある。
2. 検査とは、施工された構造物の出来栄を定められた方法で測定し、その結果を判定基準と照合しその良否を判定することである。
3. 全数検査とは製品すべてを検査し、不良品を取り除くもので、品質を保証する点で、現場において多用されている方法である。
4. 樹木などの植物支給材料については、気象上又は工程上適期に掘り取り、運搬、植え付けを行うことにより完了とする。

2025年度 登録エクステリア基幹技能者講習・試験 解答

試験実施日／2025 年 7 月 4 日 試験会場／ビジョンセンター市ヶ谷

問題番号	正解番号	問題番号	正解番号
1	3	11	3
2	4	12	4
3	4	13	2
4	1	14	3
5	4	15	2
6	1	16	4
7	4	17	4
8	4	18	2
9	2	19	2
10	3	20	1

※合格基準は100点満点の60点以上